

農業用水不足解消のため、水窪ダムから
鬼面川への放流量を増量し、代かき期間を延長

今冬の記録的な少雪により、春先の水利用を融雪に多く依存する当地域においては水利用や河川環境への影響が懸念されたことから、4月24日に最上川水系渇水情報連絡協議会（定例会）を開催しました。

米沢平野地区の田園地帯（約8,650 ha）を受益地とする水窪ダム（農林水産省所管）では、5月6日から鬼面川への放流を行い、鬼面川頭首工から農業用水を取水していたところです。

しかしながら、少雪及び早い雪解けの影響もあり、例年に比べ鬼面川の河川流量が少なく、放流を加えても代かき期に必要な水量が取水できないおそれが生じているため、代かき期に必要な水が不足することがないように水窪ダムから鬼面川への放流量を5月17日頃から増量し、加えて代かき期間を7日間程度延長します。

なお、この放流は、毎日に鬼面川頭首工地点の流量を確認しながら、必要最小限の放流量となるように管理し、実施します。

[主な実施内容]

- 1) 水窪ダム（農林水産省所管）から、鬼面川への放流量を増量（別紙参照）
 - ・ 5月17日頃から9日間の予定です。
 - ・ 鬼面川頭首工地点の流況を確認した上で、最大2.814m³/sを放流します。
- 2) 鬼面川頭首工掛かりの受益地の代かき期間を7日間程度延長。（5月26日から6月1日まで）

【参考】令和6年4月19日発表 最上川水系渇水情報連絡会（定例会）開催記者発表資料
http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/kisya/kisyah/images/98802_1.pdf

<発表記者会>
<山形県政記者クラブ、米沢記者クラブ>

問い合わせ先

[河川（鬼面川）、水窪ダム及び営農に関すること]

農林水産省 東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所

018（823）7801

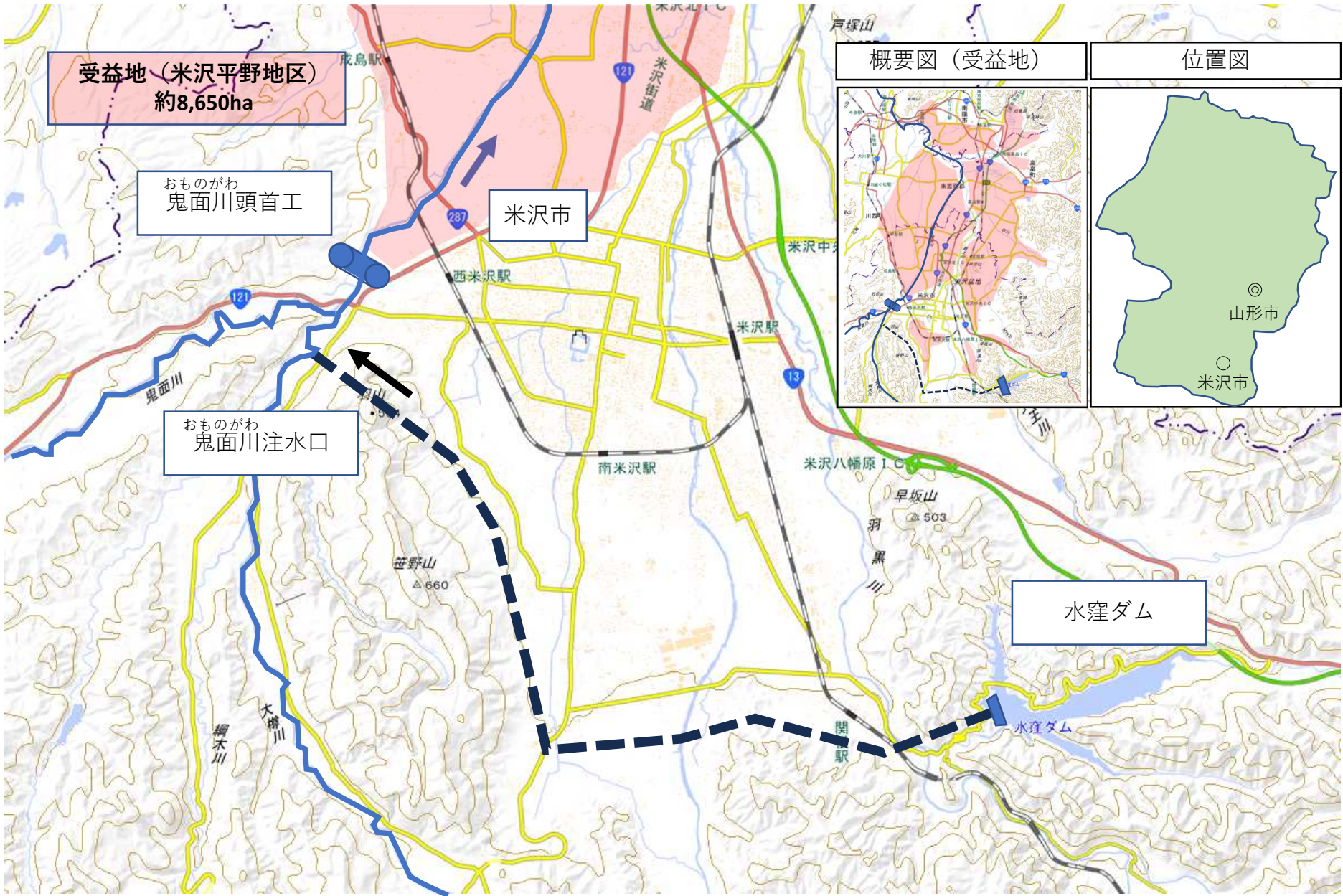
所長 渡辺 英樹

[河川に関すること（最上川水系渇水情報連絡会事務局）]

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所

023（688）8421

副所長（河川担当） 山影 修司（内線 204）



出典：国土地理院地図に取水施設等を追記して掲載